

若手会員の会 活動報告

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jws/welnet/>

(若手会員の会からののお知らせはホームページにも掲載しています)

2009 年度春季イブニングフォーラム開催報告

若手会員の会運営委員会副委員長 小薄孝裕 (住友金属工業 (株))

Report of 2009 Spring Evening Forum

溶接学会春季大会において、若手の会員の会イブニングフォーラム「製造現場における溶接技術の各種事例」を開催しましたので、報告いたします。このイベントは、日頃接する機会のない各種製造分野でご活躍中の研究者及び溶接技能者に、若手研究者がなかなか接することができない「製造現場における溶接技術の各種事例」をご講演いただきたく開催させていただきました。今回のフォーラムにおける概要は下記の通りでした。

日時：2009年4月23日(木) 17:00～18:30

場所：アルカディア市ヶ谷・春季全国大会第3会場

(1) 造船現場での溶接技術の現状

(株) アイ・エイチ・アイ・マリンユナイテッド
與倉 隆人氏

(2) 大径管シーム多層溶接のラボシミュレーションに関する取り組み

住友金属工業(株) 総合技術研究所
松延 慎吾氏

(3) 建築鉄骨用ボックス柱における各種溶接施工法

JFE エンジニアリング(株)
尾座本 大輔氏

参加者：約40名

報告は、造船分野を代表しまして(株)アイ・エイチ・アイ・マリンユナイテッドの與倉様、鉄鋼分野の溶接技能者を代表しまして住友金属工業(株)の松延様、建築分野を代表しましてJFE エンジニアリング(株)の尾座

本様にご講演していただきました。與倉様は、呉工場の歴史から造船プロセスにおいて用いられている溶接方法に至るまで広範な範囲にわたってご説明してくださり、大変聞き応えのある内容でした。特に最後におっしゃられました新興国の台頭に対抗するためには生産性・経済性の向上を求めつつ技術的優位も確保していくための技術革新が必要とのコメントは同じ製造業に携わる研究者として常に念頭に置かなければならないと感じました。次に松延様は、工場に設置されている溶接機を用いて得られる溶接部特性が研究所の小型溶接機を用いた場合の特性と異なる点を溶接技能者の角度から詳細に考察された内容についてご報告してくださり、ライブ活動で磨かれた美声とともに日本の溶接技能者のレベルの高さを知ることが出来ました。最後に尾座本様は、建築鉄骨用ボックス柱の製造に適用される溶接施工法について紹介して下さい、特になかなか目にするのがないエレクトロスラグ溶接施工の詳細を紹介して下さいことは当日聴講された参加者の方にも新鮮だったのではないのでしょうか？

通常の講演では聞くことができない溶接分野における製造現場の実態を知ることができる機会を与えてくださった講演者の方々に改めて御礼申し上げるとともに、本フォーラムを開催するにあたってご尽力頂きました若手会員の皆様、参加して頂いた皆様と関係各位に心より御礼申し上げます。